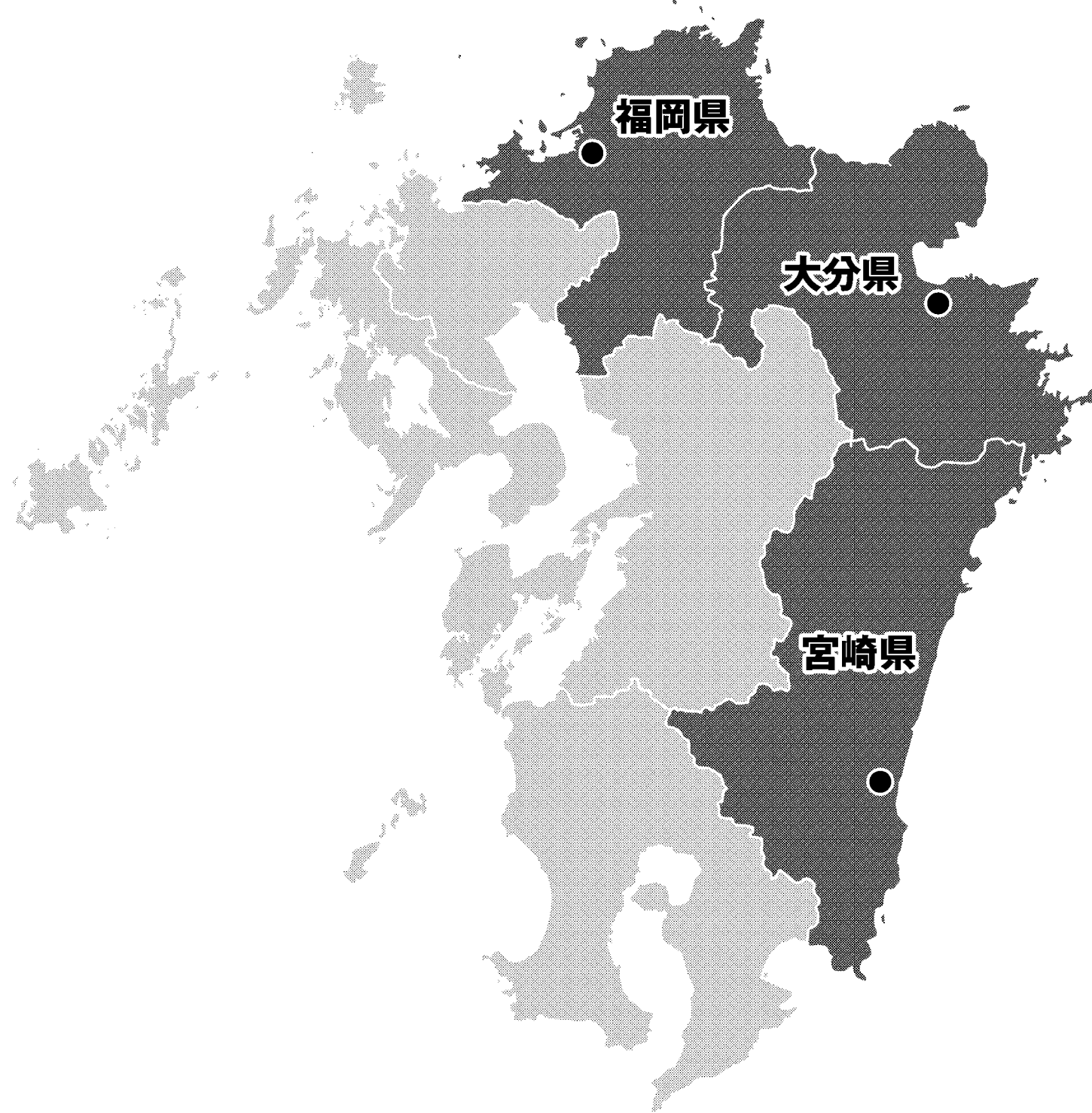


ぐーんと

工業用地



九州は東日本大震災以降、産業の西日本シフトのなかで注目を集めている。アジアとの近さや災害リスクの低さ、また基盤産業の充実など、特徴豊かな土地が企業の進出を待っている。市町が条例改正で独自の手厚い補助施策を設けるなど、営業活動は活発化。そこで各県イチ押しの工業用地を支援施策とともに紹介する。

●糸島リサーチパーク

福岡県

環境配慮型で特区



福岡県の企業用地のうち、糸島市の「糸島リサーチパーク」など7カ所は、立地促進交付金のアップが2012年4月から可能になった。これは県が北九州市、福岡市と共同で進めている「グリーンアジア国際戦略総合特区」が、11年に政府の指定を受けたことに伴う措置。従来は用地取得費を除く設備投資額の2%と設定していたが、特区区域内の7カ所は条件付きで5%に引き上げられる。環境性能の高い製品や環境配慮型製品の生産や開発を行うことが条件だ。

特区の目的は環境や省エネ、省資源などの技術や港湾を生かした企業のアジア進出支援。7カ所のうち北九州地域には3カ所、自動車関連工場が集積する筑豊地域に1カ所、福岡地域には3カ所ある。北九州や筑豊は北九州港や自動車産業の集積、一方の福岡地区は博多港や九州大学など研究拠点集積が売りだ。博多港では特区制度の規制緩和による物流時間短縮も目指している。

糸島リサーチパークは面積約6万5000平方メートル。福岡空港や九州自動車道の福岡インターチェンジから車で約40分。半導体研究施設や水素関連の製品試験施設があるほか、九州大学伊都キャンパス（福岡市西区）に近いことから研究関連施設の集積を目指す。

●大分北部中核工業団地

大分県

自動車関連を誘致



大分県は自動車関連産業を誘致する受け皿として、豊後高田市の「大分北部中核工業団地」をPRする。同団地の分譲面積は約50ヘクタール。世界一の部品供給基地」を掲げる自動車や精密機器関連企業が進出して、生産活動を行っていき、残る分譲面積は商談中の区画を除けば、約5ヘクタールと販売も好調だ。

同団地は30ヘクタール内に、部品供給するタイハツ九州（大分県中津市）など大手メーカーの拠点が多数立地する好条件にあり人気だ。北部九州はタイハツ九州や日産自動車九州（福岡県荏田町）、日産車体九州（同）といった完成車メーカーが立地し、自動車関連産業が集積する。近年は完成車メーカーの生産拡大、輸送コスト削減に対応して関東から2次、3次部品メーカーが相次いで進出。大分県の2011年度企業立地件数22件のうち、9件が自動車関連だった。

県商工労働部企業立地推進課は「完成車メーカー各社は今後も増産傾向にある」と分析。県北地域に進出済みの企業で増設を検討する企業もあるという。

中津市には企業ニーズに応える人材を供給する県立工科短期大学校もある。今後も県内外企業に対して企業訪問を強化し、誘致を加速させる考えだ。

●宮崎フリーウェイ工業団地

宮崎県

成長分野に重点を



宮崎県は、高原町に位置し宮崎自動車道高原インターチェンジに近接する利便性の高い「宮崎フリーウェイ工業団地」を積極的にPRする。分譲中の面積は約22万8143平方メートル。大規模工場が進出可能。補助制度利用により実質分譲価格は1平方メートル当たり2950円以下となり、リース価格も同年額198円だ。県内外企業が検討しやすい価格に抑えた立地条件と充実した環境を訴える。

現在、宮崎県は今後成長が期待される分野を、重点産業と位置づけて戦略的な企業誘致を推進する。太陽電池やリチウムイオン電池といった低炭素のほか、医療機器や食品、コルセーターなどの情報サービス関連産業だ。2014年度までに71件（うち県外新規立地26件）の企業立地、3585人の雇用創出を目指している。企業誘致促進に向けた優遇策としては、07年に大規模工場を誘致する「企業立地促進補助金」の最高限度額を50億円に増額。12年9月からは新規雇用者一人当たりの同補助金助成額を重点産業に絞って拡充する。県外立地企業はこれまでの30万円を50万円に、県内立地企業は15万円を30万円にそれぞれ引き上げる。

今後太陽電池や医療機器関連産業といった新産業育成と合わせて、河野俊嗣知事を先頭に企業誘致を加速させる考えだ。

新規雇用者一人当たりの同補助金助成額を重点産業に絞って拡充する。県外立地企業はこれまでの30万円を50万円に、県内立地企業は15万円を30万円にそれぞれ引き上げる。

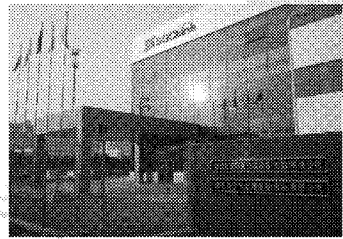
今後太陽電池や医療機器関連産業といった新産業育成と合わせて、河野俊嗣知事を先頭に企業誘致を加速させる考えだ。

Passion for Green Innovation

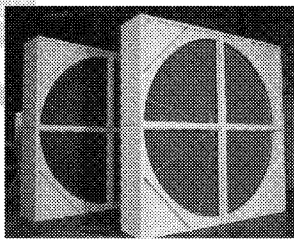
目指すはグリーン・イノベーションのフロントランナー
常に時代が求める企業でありたい

私たちは省エネ・環境保全製品の
リーディングカンパニーです

中国・アメリカ・スウェーデンの子会社を通じて
製品は世界中で活躍
持続可能な低炭素社会、循環型社会の実現を目指し
日々技術革新に挑戦しています



西部技研環境設備(常熟)有限公司
(中国)



グローバル対応製品
全熱交換器

●製品概要●

イオン全熱交換器 HI-PANEX-ION デシカント除湿機 DRY-SAVE VOC濃縮装置 SKY-SAVE 機能性ハニカム積層体 HONEY-SAVE

Passion for Green Innovation
株式会社 西部技研
www.seibu-giken.com

本社 〒811-3134 福岡県古賀市青柳3108-3
(TEL)092-942-3511 (FAX)092-942-3761

国内拠点
東京支店
仙台営業所
名古屋営業所
大阪営業所
関東技術サービスセンター

海外拠点
(中国)
(アメリカ)
(スウェーデン)
西部技研環境設備(常熟)有限公司
Seibu Giken America, Inc.
Seibu Giken DST AB

製鉄機械・各種プラントの重荷重から船舶・電車等高速、急傾斜まで

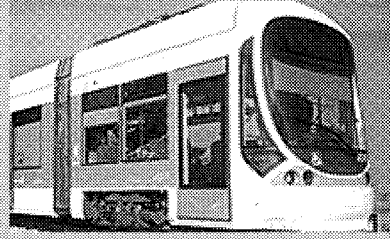
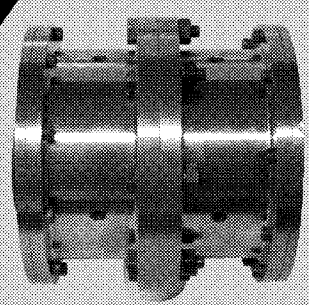
新製品のラインアップ

<http://www.kyushu-hasec.co.jp>

■低床式電車(国産第一号)に採用

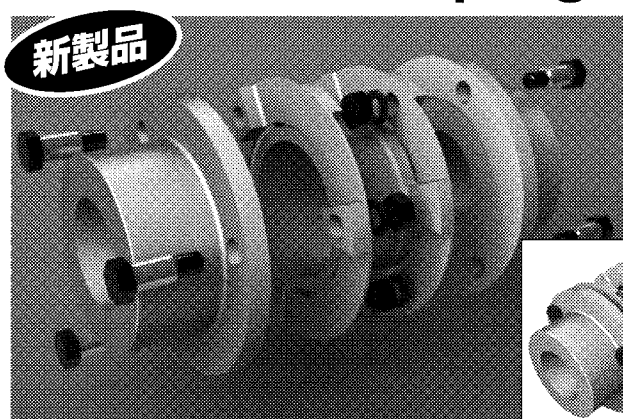
急傾斜型・ギアカップリング

- 特長
- 内外ギア、一对の噛み合いでmax5度の傾斜角
- 安全で信頼されるギアによるトルク伝達
- 高トルク、長寿命
- 実用例 電車、混練機械他



■急傾斜型・ギアカップリングを
採用した路面電車(国内電鉄会社)

Hasec Disk Coupling



新本社・第2工場

ノンバックラッシュ
安定した回転でバランサーに組み、正転、逆転可能

メンテナンスフリー
経過やボルトの定期的な緩み、締めは不要

シンプルで部品点数が少ない
整備が非常に簡単

最適な性能を低コストにて実現
FEM解析による最適設計

多機能付加形に対応可
電圧降下用、高周波用、中低周波用、
低コスト用及び多機能付加品など多用途に対応可

■1970年創立 カップリングの専門メーカー

株式会社 九州ハセック

本社・第2工場 福岡県直方市大字上新入1677-5 〒822-0033 ■東部開発営業所 TEL (03)3732-4151(代)
TEL (0949)24-3612(代) FAX (0949)25-0325 ■中部開発営業所 TEL (06)6305-0649(代)
第1工場 福岡県直方市大字上新入1677-14 〒822-0033
TEL (0949)24-0904(代) FAX (0949)24-0901